

しまねっ子すくすくプラン(平成27年度～令和元年度計画)計画期間中における事業実施状況等 (基本理念Ⅰ:子育て・子どもの育ちをみんなで支える地域づくり)

(1) 「しまねっ子すくすくプラン」における施策概要				(2) 計画期間中の実施状況等			(3) 次年度以降の事業実施見込 (継続/見直し/廃止)	(4) 次期計画における取り組み 今後の取り組みの方向性、実施計画	(5) 実施主体等				
基本理念	基本施策	施策	事業名	概要 (○: 主な事業)	事業実施状況(具体的に記入)	事業評価(成果等)	現状における課題・問題点等	今後の取り組みの方向性、実施計画	実施主体	県担当課	グループ名 (係名)		
1	I	1	①	◇全県的広報・啓発の充実	県内のすべての市町村との共同事業として子育てで家庭に交付されるしまね子育て応援パスポートCococolo(こっころ)を象徴的事業として、子育てを社会全体で温かく応援する気運の醸成や地域づくりの推進を図ります。 ○しまね子育て応援パスポート事業(こっころ事業)	県と市町村の連携により、こっころパスポートの普及率は目標を達成した。 「こっころキャンペーン」を実施し、効果的に広く普及啓発を展開することができた。 平成28年度から、全国共通展開事業を実施するにあたり、全国共通ロゴマークの入った新しいこっころパスポートを作成し、交付を開始した。子育て家庭が外出先手軽にタイムリーに情報が得られるよう、スマートフォンでも見やすく検索しやすいものにリニューアルした。	子育てを社会全体で応援するねらいで展開している「こっころ」は、パスポート事業はもとより、高橋県の子育て支援の代名詞として広く浸透してきている。 こっころパスポートの1世帯複数所有(家族カードなど)を希望する意見がある。	継続	こっころの知名度を活かして子育て支援の輪を広げていく(量的拡大)とともに、「こっころ」のイメージやネットワークを活かした取組を実施することで、効果的かつ相乗的な事業展開を図る(質的向上)。 こっころパスポート事業、「子育てを社会全体で応援する」という趣旨が賛同を得て、協賛店舗の増加や利用拡大が進むよう、店舗のサービスを募る他の公的・民間機関も参考にしながら、こっころ協賛店の募集やこっころパスポートの更なる利便性向上に取り組んでいく。	県市町村民間	子ども・子育て支援課	企画推進G	
2	I	1	②	◇地域の創意工夫による子育て支援の充実	しまねすくすく子育て支援事業 ○みんなで子育て応援地域モデル事業	地域の特性、子育て中の家庭の多様なニーズに対応し、地域住民や民間団体、企業など様々な主体が参画した創意工夫による子育て支援を市町村と連携して提供することで、子育て家庭の不安感や負担感、孤立感の解消を図るとともに、子どもの健やかな成長を支援します。 ○しまねすくすく子育て支援事業 ○みんなで子育て応援地域モデル事業	地域の子育て支援事業の充実を図るため、国の補助の対象とならない保育事業や保育ニーズに対応した子育て支援事業に対する助成。 保育や子育て支援に関する市町村の取組に助成した。	市町村の事業実施見込額に対し十分な県予算が確保できていない。	継続	引き続き保育や子育て支援に関する市町村の取組に助成。	県市町村民間	子ども・子育て支援課	子育て支援G
3	I	1	②	◇地域社会で子どもが心安らぐ放課後や休日の環境づくり	放課後子ども教室推進事業や放課後児童健全育成事業の推進、放課後・休日に子どもが体験活動、異世代交流ができる環境づくりを支援します。 ○放課後子ども教室推進事業 ○放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ) ○しまねすくすく子育て支援事業	小学校区において、放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用し、地域の方々の参画を得ながら、子ども達とともに勉強やスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施している。 放課後児童健全育成事業は16市町で実施、実施に併せて放課後児童クラブの施設整備も進んでいる。国の放課後児童健全育成事業の対象とならない放課後預かり事業をしまねすくすく子育て支援事業にて助成。	子ども達が地域社会の中で、心豊かに健やかに育まれる環境づくりを推進された。 現在、放課後子ども教室は、全19市町村164か所で開催され、小学校区カバー率は75.9%。 放課後児童クラブの待機児童解消に向けて効果的な取組を実施する必要がある。	継続	放課後や長期休業等に児童が安心して生活できる居場所を確保するため、放課後子ども教室における体験活動、異世代交流等ができる環境づくりの支援、放課後児童クラブの運営支援、施設整備、支援員養成に取り組む。また、商事業での連携、協働した取組について推進し、放課後児童クラブの待機児童解消を図る。	県市町村	子ども・子育て支援課	社会教育課 子育て支援G	
4	I	1	②	◇地域社会で子どもが健やかに育つ環境づくり	子どもやその保護者が抱える様々な困難や問題を相談員や地域のボランティアの協力を得て解決する子ども支援センターを事業を推進します。 ○子ども支援センター事業	警察で事件手続きを行った少年で、家庭裁判所等に送られる相談に対し、センターの相談員が助言や指導により解決を図るほか、相談の内容に応じて、カウンセリング、就労支援など必要な支援を継続して行い、問題の解決を図ることができた。 当県の子ども支援センター事業は、平成16年度より、松江・出雲・浜田・益田の4市に委託している事業で、「子ども支援ネットワークの構築」と「子どもに必要な支援」とを主軸に据えて展開してきた。平成30年度からは「再非行防止事業」として活動している。 しかし、この5年間は補導した後に、再び非行を行った少年の割合が30%を超えており、一人でも多くの再非行少年を立ち直らせることが、非行少年全体の減少に直結するとともに、ひいては安全安心な島根県を構築するための担い手を育むことにつながるかと考えている。	様々な困難を抱える子どもやその保護者などから寄せられる相談に対し、センターの相談員が助言や指導により解決を図るほか、相談の内容に応じて、カウンセリング、就労支援など必要な支援を継続して行い、問題の解決を図ることができた。	継続	平成19年度以降、子ども支援センター事業は少年の健全育成と安全確保の具体化に向け、幅広く活動を行ってきましたが、平成30年度からは、喫緊の課題である非行少年の再犯防止対策に焦点を絞り、「再非行防止事業」として新規に事業を推進する。	県	少年女性対策課 青少年家庭課 教育指導課	企画係 課	
5	I	1	②	◇民間の子育て支援活動の促進	少子化対策に資する様々な民間団体等の取組の推進を図るとともに、団体間の交流を促進するほか情報発信を市町村とも連携して支援します。 ○しまねすくすく子育て支援事業 ○みんなで子育て応援助成事業 ○みんなで子育て応援隊事業(みんなで子育て応援講師登録・みんなで子育て応援地域モデル事業、みんなで子育て応援スタッフパワーアップ事業)	こっころ講師登録派遣事業について、講師を各地に広く派遣できるよう、講師ごとの年間派遣回数の上限を撤廃するとともに、同じ団体が連続して同じ講師を招へいる場合に連続3回までと制限するよう改善を図った。	こっころ講師の登録数は横ばい、講師派遣数は減少傾向。 特定のこっころ講師に派遣依頼が集中する傾向があり、「こっころ講師に登録したが、依頼が無いので講師登録を解除したい」などの意見があった。	継続	こっころ講師派遣事業を通じて、県内に広く子育て支援活動の充実と子育て支援の輪の拡大を図る。 こっころ県及びこっころ講師をPRし、本事業が民間団体等の活動の充実の一助となるよう情報発信等に取り組むとともに子育て世帯の不安軽減を図る。	県	子ども・子育て支援課	企画推進G	
6	I	1	②	◇NPO・ボランティア活動の促進	子どもの健全育成に取り組むNPO・ボランティア活動を推進し、地域における自主的・主体的な子育て支援活動の活性化を図ります。	県民等からの寄附NPO活動の推進につなぐしまね社会貢献基金の活用。 NPO法人等の運営に携わる者等を対象とした、法律、会計、労務管理等のセミナーや、法人のガバナンス向上を目的とした研修、専門相談などの実施。	しまね社会貢献基金寄附者設定テーマ事業において子どもの健全育成に取り組む7団体に支援金を交付、事業実施を支援した。 セミナー、専門相談においては、団体の組織基盤の強化を行い、地域の中で持続した支援が行えるよう支援した。	しまね社会貢献基金への寄附件数が横ばいである。また、解散するNPO法人が近年増加傾向にある。	継続	しまね社会貢献基金制度のPR活動を強化するとともに、この基金を活用して、NPO法人等の取り組みを支援する。 また、法律、会計・税務、労務管理などの研修や専門相談などを通じ、NPO法人等のマネジメントを支援する。	NPO法人等(しまね社会貢献基金登録団体に限る)	環境生活総務課	NPO活動推進室

しまねっ子すくすくプラン(平成27年度～令和元年度計画)計画期間中における事業実施状況等
(基本理念Ⅰ:子育て・子どもの育ちをみんなで支える地域づくり)

(1) 「しまねっ子すくすくプラン」における施策概要				(2) 計画期間中の実施状況等			(3) 次年度以降の事業実施見込 (継続/見直し/廃止)	(4) 次期計画における取り組み	(5) 実施主体等				
基本理念	基本施策	施策	事業名	概要 (○:主な事業)	事業実施状況(具体的に記入)	事業評価(成果等)		現状における課題・問題点等	今後の取り組みの方向性、実施計画	実施主体	県担当課	グループ名 (係名)	
7	Ⅰ	1	②	◇世代間交流の促進	<p>保育所入所児童等と高齢者の世代間交流事業や高齢者グループがスポーツや遊びを通じて子どもと交流する活動を促進します。</p> <p>○市町村老人クラブ連合会助成事業 ○しまねっ子すくすく子育て支援事業</p>	<p>県老人クラブ連合会では協働による地域づくりを重点的に推進しており、各市町村老人クラブ連合会で児童の登下校時の見守り活動や地域文化の伝承活動に積極的に取り組むなど、県内クラブ全体に子育て支援活動が広がってきた。また、島根県高齢者大学校(くにびき学園)の卒業生が同窓サークルを結成し、世代間交流などの活動も展開している。</p> <p>しまねっ子すくすく子育て支援事業にて、16市町村の取組を助成。</p>	<p>県内老人クラブや、くにびき学園卒業生による登下校の見守り活動・地域文化の伝承活動・世代間交流などが展開された。</p> <p>世代間交流に関する市町村の取組に助成した。</p>	<p>昨今の地域住民のつながりの希薄化等により老人クラブの会員数が減少してきており、地域活動を担う有効な社会資源である老人クラブの会員増強に向けた官民一体となった活動の推進が必要である。</p> <p>くにびき学園の卒業生は、地域での活躍が期待されており、卒業生のネットワークを強化することが求められている。</p> <p>基準額が低いため十分な支援とまらないケースがある。</p>	継続	<p>老人クラブ固有の課題として、地域の重要な支え手としての期待に応えていくことや、高齢化が進むクラブ組織の維持・活動活性化を図っていくことが求められている。世代間交流に関する活動は、課題解決とも関連が深いため、自主的な活動が継続していけるよう、取り組みを促進していく。</p> <p>くにびき学園については、現在カリキュラムを大幅に見直すこととしており、次世代育成・世代間交流などの活動を積極的に行う人材育成に取り組んでいく。</p> <p>引き続き世代間交流に関する市町村の取組に助成。</p>	市町村 民間	高齢者福祉課 子ども・子育て支援課	高齢社会支援G 子育て支援G